



# 指扇中だより



藍色の花 アジサイ

= 自信と誇りに満ちた指中生 =

〒331-0078 さいたま市西区西大宮 3-31-1 電話 048(624)6234 FAX 048(624)2479

## 『アオゾラペダル』

おお こ うち のり かず  
校長 大河内 範一



息子が自分の小遣いを計画的に貯金し続け、立派なクロスバイクを購入した。街中を意気揚々と、そしてスポーティに走行している息子の姿を、その後ろからママチャリに乗って汗だくで追いかけてながら目の当たりにした私は、持ち前の散財癖が発症し、自分専用のクロスバイクを購入してしまった。この時から、今後「趣味は何か」と問われたら、迷わずに「サイクリング」と回答しようと心に決めている。

このクロスバイクはイタリアの老舗メーカーで製造されたものなのだが、車体に使われている色が独特の青緑であることが特徴で、イタリア語で「青空」を意味する「チェレステカラー」と呼ばれている。この色については、メーカーの創業当時、イタリアの王妃のリクエストで、彼女の瞳の色と同じ色を自転車にペイントしたという、ちょっとロマンチックな伝説も残されている。

という訳で、遠方への旅行がなかなかできないこの御時勢、サイクリングは小旅行気分を味わうことができ、さらには運動不足解消にもつながる、とてもタイムリーな趣味であると言える。しかしながら、サイクリングはおろかクロスバイクに乗る機会がちょっと少ないのが悩みの種である。

クロスバイクは、ママチャリと違ってサドルの位置が高く前傾姿勢になるため、この姿勢に慣れていない私は、しばらく乗ると首や肩が痛くなってしまふ。走行後にはシップ葉を塗ったり、自分でマッサージしたりするなど、体のメンテナンスが必要になっており、本当に健康のためになっているのか、ちょっと分からない状態である。また先日は、クロスバイクに乗って近所の病院に行き、健康診断を受けてきた。これは拡大解釈をすると、一応自分の健康のために役立っているとギリギリ言えるのではないかと考えるが、やっぱり無理があるかもしれない。

さて、私はこのように新しい趣味を満喫しているのだが、皆さんもどんなことでもいいので、興味があること、やってみたいことには、躊躇せずに挑戦してほしい。今しかできないことは、先送りせずにまずやってみる。そこから刺激を受け、新たな発見があるかもしれない。この繰り返しで豊かな人生に繋がるのだ。

今夏の終わり、クロスバイクで走行中にふと空を見上げると、吸い込まれそうな青空が目の前に広がっていた。自由、幸福、希望、爽快、笑顔・・・、そんなポジティブな言葉が次から次へと頭に浮かんできた。世界中が早く平和になるといいなと思いつつ、グイッとペダルを漕いだ。